

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 明石市立あおぞら園		
○保護者評価実施期間	令和8年1月14日		令和8年1月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 28名
○従業者評価実施期間	令和8年1月14日		令和8年1月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 8年 2月 25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・施設環境が充実している。 活動スペースが十分にあり、集団活動や個別活動、個人の様子に合わせて柔軟に使うことができる環境が整っている。 パーテーションや机、カゴなどを活用し、構造化し、活動・個人の様子に合わせて環境を整えることができる。	・整った環境の中で支援ができるよう整理整頓を心掛けている。 清掃や準備片付けを職員で協力しながら行なっている。 衛生面も意識し、換気や消毒なども行なっている。 ・個人の好みや特性に合わせて活動の準備や個別対応の準備を行なっている。 ・どこで何をするのか、どこに何を置くのか分かるよう、お子様が自分で見て分かる視覚提示を意識し、環境を整えている。	・安全に安心して過ごすことができるよう環境を整えている。 衛生面にも気をつけ、より一層換気や消毒なども行い、安全・衛生の管理にも努めていく。 ・お子様の特性や状況に合わせて環境を整えることができるよう、観察や環境の見直しを行い、柔軟に対応していく。
2	・職員の資質向上に努めている。 職員が外部研修を自ら受けたり、伝達研修を行ったりしている。	・必要な職員研修だけでなく、お子様への支援や保護者支援についての内部研修を行っている。 ・外部研修にも積極的に参加し、伝達研修を行っている。 ・クラス職員やセラピスト、管理職、相談員など多職種が連携し、お子様とご家族の支援を行っている。	・今後は定期的に研修日を設け、ケース検討会など様々な研修を行っていく。 ・社会情勢や利用されているお子様・ご家族の課題に合わせた研修を検討し、研修内容の充実を図る。
3	・安全管理と保護者対応 ヒヤリハット等もあるが、保護者の方とは連絡を密に行い、丁寧に対応を行っている。	・ヒヤリハットや事故が起こった際にはすぐに報告・相談を行ない、必要な対応を行っている。原因や改善点を話し合い、改善に努めている。翌日の朝礼で周知を行い、職員全員で共有している。 保護者の方にも状況の説明、謝罪、今後の対策について説明を行い、了承をいただいている。 ・日頃から保護者の方とは連絡を密に行い、相談や要望にも丁寧に応じるよう心掛けている。	・お子様が安全に過ごすことができるよう、危機管理や安全対策を職員全員で意識して行なっていく。 ・より一層保護者の方との日頃からの連絡を心掛け、何でも相談、お話ができる環境や雰囲気作りにも努めていく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人材不足 産休・育休や時短勤務、退職などにより職員が不足している。有給休暇者や急な欠勤者が重なるとお子様に合わせた丁寧な支援が難しい状況もある。 求人募集を出すのが、応募者が少ない。	・保育士が多く、女性雇用率が高い。結婚・出産等の関係から、退職や産休・育休率が高い。 ・子育て世代の職員も多く、家族の体調不良や学級閉鎖などで急に欠勤になる場合がある。	・求人募集の方法を工夫すること、仕事内容の明確化や魅力の発信方法を工夫することが必要である。 ホームページに求人情報ページがあるため、求人状況を発信していく。 ・できるだけ休みの調整を行ったり、職員間で連携し助け合いながら、支援を行っていく。
2	地域交流の不足 地域の保育所、こども園との交流の機会を設けることができていない。	・職員が不足しており、安全面・スケジュール調整の面から交流の機会を設けることが難しい。 ・地域の保育園、こども園との関係が薄いこと。	・地域の保育園・こども園との関係、連携を強化していく。 ・地域のお子様とあおぞら園のお子様と安全に楽しく過ごせる環境を検討し、企画していく。
3	情報発信の弱さ あおぞら通信や給食だよりは毎月掲載しているが、ホームページをあまり活用できておらず、ご家族・地域に向けて発信する機会が少なかった。	・利用者の方に向けての情報発信は連絡アプリを活用しており、ホームページを利用する機会は少なかった。 ・地域に向けてのイベントなどを掲載することもあったが、機会が少なかった。	・地域の方も参加ができるイベントやセミナーを開催する際にはホームページに掲載し、発信していく。 ・利用者の保護者の方にもホームページに掲載されているものについて、発信し活用してもらう。 ・適宜内容を見直し、更新していく。